

○（北）龍光院〔玉林の南にあり。大梁興宗禪師江月和尚塔所。黒田筑前守長政の父勘解由源孝高の為に造立す、長政は筑前福岡城五十二万石、元和九年八月四日卒、五十四歳、号興雲院殿〕

〔孝高は天正十四年秀吉公に奉じ、豊州中津城六万石、慶長九年三月廿日卒、五十歳、号龍光院如水円清〕

聯芳堂〔院内にあり。中位に達磨像、左円鑑国師、右興宗禪師を安ず。又後陽成院第六皇子好仁親王、号高松殿、参

江月称入室弟子、当院檀越とす。又吉川美濃守広正礼江月問法、其父藏人頭侍従広家の遺命を以て立墓於当院、

広家居防州岩国城領六万石、寛永二年九月廿一日卒、六十四歳、号全光院殿中岩如兼〕

客殿中間 唐松仙人 等顔筆

礼間 松に仙人 等伯筆

檀那間 真山水 等顔筆

衣鉢間 金山寺の図 同筆

大書院 草山図 同筆

杉戸 一間半式枚唐獅子四疋 同筆